

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立秩父高等学校		Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	地域や保護者のニーズを受けとめて、「礼節と主体性を備えた人材育成」という部分に反映させるなど、昨年度一部見直しが行われた。学校として目指す方向が明確に示されている学校像である。本年度創立110年目を迎えるに当たり、更に学校の特色や強みを生かしたシンボリックな学校像を模索していただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	学校の置かれた状況や生徒の実態を踏まえ、重点目標が設定されている。目指す学校像の実現に向けて重点化された適切なものとなっている。教職員間で共有化が図られており、日々の教育活動の指針となっている。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて分掌・学年のシートが作成されるなど、重点目標達成のための取組が進められている。学校全体の目標を踏まえ、分掌・学年で検討される方策等を学校全体のシートへフィードバックして相互の連携を図るなど、学校自己評価システムの運営について工夫ができると更に良い。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	評価項目を達成するための様々な方策が策定され、教職員が共通理解を持ち連携して取り組んでいる。これまでの達成状況や課題を検証し、更に効果的・効率的な課題解決が行われるよう方策を整理して重点化を図ることが望まれる。	
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校や生徒の現状を踏まえ、「地域の期待に応える進学校をつくる」という方針の下、取り組んでいる。校長のリーダーシップが的確に発揮され、「校内教科研修会」を基にした授業改善の取組や若手教員の育成など、教職員のベクトルを合わせた動きになっている。今後は学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	生徒・保護者アンケートなどを実施し、学校自己評価のための情報が収集されている。学校関係者の意見やアンケート結果等を詳細に分析して新たな課題の析出や方策の見直しを行い、次年度の新たな取組につなげるなど、CからAPのつながりを意識したスパイラルアップを図るようにしていただきたい。	
特記事項			